

平成 30 年度 同志社大学体育会カヌー部OBOG会 総会議事録

平成 30 年 11 月 17 日（土）17:00～18:00

京都会場：祇園円山かがり火 東京会場：レストランフォレストタケ山荘

開催に先立ち、今年度卒業の川嶋航大さんがお亡くなりになりましたので謹んで哀悼の意を表し、黙祷。

総会進行 学年幹事 2002 年卒・33 期生 岡田 OB 道中 OB 中村 OB 柚木 OB

<司会進行 岡田 OB>

1 中村会長、開会のあいさつ

これより先の議長は中村会長が務められる

司会は引き続き岡田 OB。

2 出席者の報告と総会の成立

京都会場 29 名、東京会場 14 名。計 43 名。委任状提出 38 名

東京会場と京都会場を中継するシステムが構築できていないため、東京会場参加者は全員中村会長に委任いただくことを、藤川東京支部長と確認いただく。

出席者と委任状で、OB 総数の過半数には達していないが、議長判断にて出席者の過半数で決する。

3 第 1 号議案

「平成 30 年度収支報告」

深田幹事長（議案説明）

濱井会計幹事による監査報告紹介

会場全員の挙手にて成立

4 第 2 号議案 「平成 31 年度予算案」

深田幹事長（議案説明）

1 期永野 OB より、支出の部・監督コーチ交通費の摘要項目「人員強化に伴う増額」との表記があるが、平成 30 年度と同額とのご指摘。

深田幹事長より表記間違いであり表記削除。

会場全員の挙手にて成立

5 第3号議案 「艇庫建設寄付金募集・期間延長の件」

第4号議案 「若手優遇策1年間延期の件」

深田幹事長（議案説明）

会場全員の挙手にて成立

6 第5号議案 「新OB・OG承認の件」

15期岡田（新OB9名読み上げ）

矢野優太・井上啓介・中野峻平・塩谷陸人・宍戸美華・渡邊えみ里・西村佳穂

戸田早紀（欠席）（敬称略）

及び、故川嶋航大氏もOBOG会員として迎える

新OB（自己紹介）

会場全員の挙手にて承認

7 報告事項

(1) 終身会費制度について継続審議

＜深田幹事長（内容報告）＞

年会費制など、制度変更の意見もあるが、継続して審議する。

(2) 新役職を幹事会にて検討し組織役割分担を進めた（別紙）

＜深田幹事長（内容報告）＞

各幹事の業務負担を軽減してOBOG会運営に臨む。

(3) 同志社大学体育会重点強化クラブ【Bランク】指定の件

＜笠川監督（内容報告）＞

強化クラブ指定。5年毎の見直しにて当クラブも申請の結果、Bランク指定となる。

今回「水泳、カヌー、空手」が選ばれ、ヨット、フェンシングが指定解除。

更新時期でないB指定クラブは、「準硬式野球、射撃、アーチェリー」

※議案書の表記間違いがあり、ここに訂正いたします。

指定解除の2クラブは実績としては劣っていることもなく、過去サッカー部が

下位リーグ落ちに伴い解除になるなど、今後指定クラブとしての責務を果たす。

補助金に関して、今年度は艇購入に多くを充てたが、今後設備への投資など結果を残せるようにしていく。

(4) OBOG 情報管理及び通信設備整備検討の件

＜深田幹事長（内容報告）＞

OBOG 会名簿の管理をはじめ情報管理をクラウドサーバーを活用していくことを継続して検討していく。

(5) 2020募金の件

<深田幹事長 (内容報告) >

同志社大学 2025ALL DOSHISHA 募金の協力を依頼。

同志社創立 150 周年を迎える 2025 年に向けての募金要請があり、  
カヌー部の割り当て目標 300 万円。一口 1 万円。ふるって募金のほど  
お願いいたします。

(6) 今年度の振り返り戦績など

<笠川監督> (報告)

今年度顕彰選手 (インカレ 3 位以上、海外選手権出場) 10 名の紹介

宍戸美華: WK2-2 優勝、WK4、Relay 準優勝、WK1 3 位、世界大学選手権。

渡邊えみ里: WK2-2、WK4 準優勝、WK2-5 3 位、長距離学生選手権 WK-1 優勝。

五十嵐結衣: WK2-2 優勝、WK4、Relay 準優勝、世界大学選手権。

村野武広: K2-2 優勝。

木村大翔: K2-2 優勝。

埋金楓: Relay 準優勝

佐藤友香: WK2-2、WK4、Relay 準優勝、WK2-5 3 位、アジアパシフィック大会

楽前雄大: JC1-5、JC1-2 優勝

吉見優香: 世界大学選手権

橋本将人 (総会欠席) 世界選手権 C2 200m8 位 U23 世界選手権 C2 10000m13 位他

個人では華々しい活躍があった反面、団体ではまだまだ十分な結果は伴わなかった。

女子カヤックは惜しくも準優勝。点数に対する詰めが甘かった

世界大学選手権にて団長を務めていただいた

<田中副会長>より総評

世界大会において日本選手が歯が立たないかというところではない。

順位こそ 9 位でも十分に戦える

大学からカヌーを始めた者でも、代表に選ばれる選手になっている。

十分な鍛錬をすることで世界レベルまで行ける。

自分の役割を認識して頑張っていたきたい。

(7) 新幹部・自己紹介

(8) 50 周年記念グッズ。まだ在庫あり。振るって購入をお願いします。